

審議内容

○平成28年度第10回倫理委員会審議（平成29年1月19日）

申請者	救命救急科医師	高田 浩明
課 題	鈍的外傷患者において、下大静脈径は大量輸血の予測因子か	
判定結果	承認	<ul style="list-style-type: none"> 申請書、計画書および同意書を前向き観察研究の内容とし、内容を再確認すること CT検査の結果で大量輸血の実施が決まると、結果に選択バイアスがかかる可能性があり、これについて再検討を要すること

申請者	救命救急科医師	高田 浩明
課 題	敗血症性播種性血管内凝固症における予後予測因子としてのProteinC活性の検討	
判定結果	条件付承認	<ul style="list-style-type: none"> 申請書「共同担当者名」欄に、他の参加施設（担当者・職名）を記載するとともに、救命救急センター部長を共同担当者に入れることを検討すること 申請書の実施期間は、当院での実施期間を記載すること

※前回までの倫理委員会で条件付承認となっていた研究課題のうち本日までに承認された課題の報告

申請者	呼吸器内科医長	上村 光弘
課 題	アレルギー性結膜炎に対する抗ヒスタミン剤眼瞼塗布療法の有効性について	
判定結果	承認	

申請者	呼吸器内科医長	上村 光弘
課 題	「スピオルト [®] レスピマット [®] 」特定使用成績調査と同時期に実施するLAMA+LABAが処方された慢性閉塞性肺疾患患者の背景調査	
判定結果	承認	

申請者	第一病棟部長	竹迫 直樹
課 題	慢性期慢性骨髄性白血病患者における無治療寛解を目指したダサチニブ治療第Ⅱ相（D-FREE）試験	
判定結果	承認	

申請者	脳神経外科医長	重田 恵吾
課 題	脳梗塞超急性期における血管内治療単独療法の有効性に関する多施設共同ランダム化比較研究（Randomized study of endovascular therapy with versus without intravenous tissue plasminogen activator in acute stroke with ICA and M1 occlusion - A prospective, multicenter, randomized trial）	
判定結果	承認	

※迅速審査で承認された課題の報告

申請者	循環器内科医師	福島 琢
課 題	ステント内再狭窄に対するパクリタキセル溶出型バルーンの長期有効性および安全性についての検討	
判定結果	承認	

申請者	脳神経外科医長	重田 恵吾
課 題	病院前で脳卒中の病型を分類するための救急隊の患者評価項目に関する研究について	
判定結果	承認	